

- 問1 イタリアなどの地中海沿岸地域に関する統計において、他の地域に比べて「樹園地」の占める割合が高いという特徴があります。この地域で、夏の乾燥に強いオリーブやブドウ、オレンジなどの樹木作物を中心に栽培する農業の名称として正しいものを選びなさい。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
1. プランテーション
 2. 混合農業
 3. 地中海式農業
 4. 酪農
- 問2 日系現地法人が400社以上進出し、日本への機械・輸送用機器の輸出額が年間1000億円を超える規模にあるフランスの産業について、近代工業発展のきっかけとなった資源と、現在の航空機産業の中心地の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2025年 東京都公立入試 類似）
1. 鉄鉱石 － トゥールーズ
 2. 石油 － パリ
 3. 銅 － リヨン
 4. 石炭 － マルセイユ
- 問3 多くの先進国で少子高齢化が課題となる中、フランスは比較的高い出生率を維持していることで知られています。2022年の統計に基づくフランスの人口ピラミッドの形状について、各年齢層の分布状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 15歳未満の年少人口が極端に減少せず、底辺にある程度の厚みを保ったつぼ型から釣鐘型に近い形状
 2. 出生率が非常に高く、底辺が横に大きく広がり頂点に向かって急激に細くなる富士山型の形状
 3. 若年層が極端に少なく、老年人口の層が横に大きく張り出した逆三角形に近い形状
 4. 生産年齢人口である都市部への流入層のみが突出し、上下の年齢層が極端に少ない星型の形状
- 問4 温帯の気候区分のうち、イタリアなどの地中海沿岸や緯度三十度から四十度付近の大陸西岸に分布する気候について、夏季は乾燥して降水量が極端に少なく、冬季に一定の降水が見られる気候を何といいますか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
1. 地中海性気候
 2. 温暖湿潤気候
 3. 西岸海洋性気候
 4. サバナ気候
- 問5 ヨーロッパの北部や東部の統計において、穀物栽培と家畜の飼育が組み合わされている「混合農業」の仕組みや特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）
1. 季節による気温の変化に合わせ、家畜を夏は高地の牧草地へ、冬はふもとの平地へと移動させる。
 2. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培と、冬の降水を利用した小麦栽培を組み合わせる。
 3. 家畜の糞尿を肥料として耕地に還元し、穀物栽培と家畜の飼育を循環させて行う。
 4. 大都市への出荷を目的として、冷涼な気候を活かし乳牛の飼育と乳製品の加工に特化する。
- 問6 現代のヨーロッパにおける労働力の移動について、ドイツとその周辺諸国の関係を説明した文として、適切なものを選びなさい。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. ドイツは周辺国に比べて人口密度が急激に低下しているため、定住者を増やす目的で周辺国から人々を招いている。
 2. ドイツは周辺国に比べて工業が発達しているため、仕事を求める移住者が周辺国から集まっている。
 3. ドイツは周辺国に比べて観光資源が不足しているため、観光業を学ぶために人々が周辺国へ流出している。
 4. ドイツは周辺国に比べて農業が衰退しているため、食料生産を助ける労働者が周辺国から集まっている。
- 問7 ヨーロッパ西岸の気候に大きな影響を与える「北大西洋海流」と「偏西風」に関する説明として、ロンドンの冬季の状況を踏まえて述べたものとして適切なものを選びなさい。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 北大西洋海流は寒流であるが、偏西風が熱帯の空気を運んでくるため、ロンドンの冬は温暖に保たれる。
 2. 低緯度からの暖流である北大西洋海流の影響を偏西風が内陸へ運ぶため、冬の気温は札幌やニューヨークより高くなる。
 3. 日本近海を流れる黒潮（日本海流）と同じ暖流が偏西風によって運ばれ、ニューヨークよりも冬の気温を高くしている。
 4. 高緯度からの寒流である北大西洋海流の影響を季節風が和らげるため、冬の気温は氷点下になりにくい。
- 問8 輸出相手の上位にフランス（約535億ドル）、ドイツ、ポルトガル、イタリア、イギリスが並び、輸入相手もドイツ、フランス、イタリア、イギリス、オランダと欧州諸国が独占している国はどこですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. イタリア
 2. アメリカ合衆国
 3. スペイン
 4. フィリピン
- 問9 アメリカ、ノルウェー、中国、日本の4か国の統計において、2017年時点での人口や自動車の総保有台数は最も少ないものの、「人口一人あたりの電気自動車の保有台数」が他の3か国と比較して10倍以上という極めて高い水準にある国はどこですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本
 2. 中国
 3. ノルウェー
 4. アメリカ
- 問10 欧州連合（EU）の拡大に伴い、加盟国間での経済的な水準の差が大きな課題となっています。2007年以降に加盟した東ヨーロッパの国々と、フランスやドイツなどの初期からの加盟国の経済状況を比較した説明として、最も適切なものはどれですか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
1. 東ヨーロッパの国々は急速な経済成長を遂げた結果、1人あたりの国民総所得において初期の加盟国をすべての面で上回っている。
 2. 初期の加盟国は、東ヨーロッパの国々からの安価な農産物の流入を防ぐために、あえて自国の国民総所得を低く設定している。
 3. 2007年以降に加盟した東ヨーロッパの諸国は、初期の加盟国に比べて1人あたりの国民総所得が低い傾向にあり、域内の経済格差の要因となっている。
 4. EUでは加盟国すべての経済水準を均一にする制度が確立されているため、加盟時期による1人あたりの国民総所得の差は存在しない。
- 問11 フランスのように、エネルギー供給において原子力が大きな役割を担うエネルギー構造を維持している主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）
1. 偏西風を利用した風力発電に適さない地形であり、代替エネルギーとして原子力以外の選択肢がなかったから。
 2. 広大な国土に未開発の石炭層が豊富に存在し、その燃焼効率を高める技術として導入したから。
 3. 化石燃料の自給率が低いため、エネルギーの安定供給と資源の海外依存度の低下を目指したから。
 4. 北海で産出される天然ガスを全量輸出に回すため、国内の電力需要をすべて原子力で賄う方針を立てたから。
- 問12 欧州連合（EU）加盟国間における労働力の移動について、ポーランドやルーマニアなどの東欧諸国からドイツなどの西欧諸国への人口流入が起きている主な理由として、経済的な背景を説明したものを選びなさい。（2016年 福岡県公立入試 類似）
1. 東欧諸国の経済成長が西欧諸国を追い抜いたことで、西欧諸国の高度な技術者が東欧へ流出するのを防ぐための措置である。
 2. 1人あたりの国内総生産（GDP）が低い東欧諸国から、所得水準の高い西欧諸国への経済格差を背景とした移動である。
 3. EU域内では国境を越えた移動の自由が制限されているため、特定の国への移住には政治的な許可が必要となっている。
 4. 西欧諸国で出生率が急上昇し、労働力が過剰になったため、東欧諸国から安価な労働力を呼び寄せている。